

嘉麻市社協だより

社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会

〒820-0205 嘉麻市岩崎1143番地3 稲築住民センター内

TEL 0948-42-0751 <http://kama.syakyo.com>

FAX 0948-83-8005 info@kama.syakyo.com

[f https://www.facebook.com/kama.swc](https://www.facebook.com/kama.swc)

発行日/2016.1.1

えがお

No.119

今年も
元気
いっぱい
遊ぼう!



恵大保育園 2歳児の みなさん

福岡県生活支援 コーディネーター養成研修 ボランティア養成研修

介護保険が変わると私たちの暮らしは？

今年度、介護保険制度改正が行われ、住民が主体となつて行う助け合い活動が注目されています。

そのような中、制度改正を学ぶ研修会や勉強会が頻繁に開催されており、本会職員も参加しました。11月9、10日は、福岡会場で、11月24日、25日は、北九州会場で、福岡県生活支援コーディネーター養成研修があり、地域包括ケアシステムのポイントや生活支援体制整備事業、コーディネーターの役割や協議体の構成などの説明がありました。地域にどのようなニーズがあるのかを把握する個別支援と、サービスや資源を開発する地域支援、それぞれの専門性が連携することが大切であることを改めて感じました。

また、12月13日は、福岡県生活支援ボランティア養成研修があり、本会の木山事務局長が「ボランティアを始めるにあたって」をテーマに講演、グループワークをしました。

今までの介護保険は、できないこと探しだったが、これからの地域支援事業は、みなさんの強みを探し、何かできる、これができる、これならできるといふ発想を持つことが大切であることを参加されたみなさんに伝えました。

平成28年1月29日(金)は、協議体について学ぶ勉強会を下記の通り開催します。介護保険が変わり、新しい地域を作っていくことについて、ともに学びたいと思います。ぜひ、ご参加ください。



11月25日、「高齢者に係る地域アセスメントの手法について」グループワークで、個別課題を地域課題に転換する取り組みを考えました

生活支援 コーディネーター って？

住民と関係機関をつなげたり、地域における助け合いの仕組みを調整する人です。

地域支え合い推進員とも呼ばれていて、新たな支え合いの活動を推進します。



協議体って？

地域で活動している人(物知りな方、長く住んでいる方、隣近所を心配される方)が集まり、課題を話し合い、ないサービスを作りだすところです。

地域で暮らし続けるための支えあいの仕組みを考えます。嘉麻市では、5カ所の中学校圏域(稲築西、稲築東、碓井、嘉穂、山田)に設置が必要です。



勉強会のご案内

平成27年度の介護保険制度改正により、高齢者を支える仕組みが大きく変わることになりました。新しい地域支援事業では、だれもが住み慣れた地域で生活を継続するために、人と人とのつながりを通じて、支え合えるような地域づくりをすることが必要となります。

そこで、事業の中心となる市民のみなさまと一緒に、地域支援事業の概要や住民の支えあいの仕組みについて学びたいと思います。

記

日時 平成28年1月29日(金) 13時30分～16時
場所 夢サイトかほ(嘉麻市大隈町1228-1)

内容
講義Ⅰ「改正介護保険制度と地域づくりについて」
講義Ⅱ「高齢者を支える地域づくり」のために どうすればよいか？

グループワーク～地域のサービスを検証しましょう～

参加申込み
嘉麻市社会福祉協議会 TEL0948-42-0751

地域支援事業って？

今までは、全国一律の基準で介護予防給付を行っていましたが、今回の介護保険制度改正により、要支援者に対する訪問介護及び通所介護が地域支援事業という名称に移行することになりました。

地域支援事業は、市町村単位で行いますので、お住まいの場所によって受けるサービスが変わってきます。

助け合い活動を 始めませんか？

本会では、助け合い活動を始めるために、行政区を単位とした地域福祉部の設置を推進しています。みなさんが、ご近所での助け合い活動などを始めるためには、話し合う場が必要となります。

本会の職員も一緒に助け合い活動を考えていきますので、まずは、集まり、お話ししませんか？

気軽に「コミュニティワークセンター」までご相談ください。

～法人設立10周年記念事業 第8回支えあいのまちづくりサポーター養成講座～



「水俣病と家族の歩み」

11月18日(水)、稲築地区公民館で、第8回支えあいのまちづくりサポーター養成講座を開催し、31名が参加されました。

水俣市立水俣病資料館で語り部をされている杉本肇さんからお話を伺い、差別や偏見のない地域をつくるために何が必要なのかを考えました。

水俣病とは

チツソ水俣工場が不知火海に流した工場廃水に含まれるメチル水銀が魚介類を汚染し、知らない間にその魚を食べた人たちがメチル水銀中毒になった公害病です。昭和31年に水俣市で原因不明の病気の発生が確認されました。しかし、原因として工場廃水が疑われるようになってからも流され続けました。近代化の波にのっていたチツソを誰も止めることができずには過ぎ、不知火海では水俣病の被害が拡大してしまいました。

水俣病と差別

魚がたくさん獲れる不知火海の恵を受けてのどかな暮らしを送っていた人々は、突然、原因不明の病気になる、奇病や伝染病と誤解され、村を出ていけと言われるなどの差別を受けました。水俣病の原因が明らかになり、うつる病気ではないと分かってくると、チツソの影響を強く受けた水俣では、患者さんとうとましく思う雰囲気があり、患者とそうでない市民が対立してしまうなど地域社会のつながりまで壊れてしまいました。

水俣への差別

患者さんだけでなく、水俣市民というだけで差別されることもありました。私も就職した時は水俣出身というだけで嫌な顔をされましたが、その時に何も言い返せなかったのです。被害者である患者と加害者のチツソが同じ所に住んでいることから、自分たちの問題なのに触れないようにしていました。そうして全国の人たちが水俣病という名前だけを知り、うつる、遺伝するという間違った認識が広がってしまいました。私たちが委縮してしまい、出身地も隠してしまうようになったのです。また、水俣出身とは結婚できないという話もあり、この問題は非常に大きく、長く続きました。これはいけないということで、資料館、語り部制度ができ20年になります。子ども達は患者さんが受けた苦悩を真剣に受け止め、どう生きてきたかを学びます。知らないまま過ごすのではなく、事実を目をそばにせず未来につなげることが大事なことだと思っています。

闘い続けた家族

昭和43年に、工場の廃水がようやく停止されましたが、祖父は差別を受けたことが許せず、裁判の準備をしていました。親戚にチツソで働く人がいることもあり、諦めると何度も言われましたが祖父はひるまずに立ち向かいました。裁判から一週間後に祖父は亡くなってしまい、父と母が継ぎました。親戚からは縁を切られ、村からも孤立しましたが、諦めなかった結果、勝訴となりました。希望を捨てずに闘い続けた私の家族には、覚悟があり、魂を込めた闘いだっただと感じます。

語り部として伝えたいこと

母が語り部として活動していましたが、私が一番辛かったのは差別だと話をしていました。決して悲劇を伝えるのではなく、差別に立ち向かい、強く生きる勇気を与えてくれました。水俣病は公害病の原点であり、負の遺産を抱えているとよく言われますが、私はそう思いません。ここに受難をして生きた人が輝いていました。このことを未来につなげていくために私は語り続けていかなければならないと思っています。

開設して10カ月

かまひきこもり相談支援センター

今年の4月に「かまひきこもり相談支援センター」ができて、10カ月が経ちました。ひきこもりについて相談する場所があるということを知ってもらえるようになり、メールでの相談もくるようになりました。しかし、誰にも話せず一人でお悩んでいる方がたくさんおられることも同時に感じています。

11月28日(土)には、筑後地区社協職員連絡会(久留米市、柳川市、みやま市、筑後市、大川市、大木町、大牟田市、広川町、八女市社協)にて、センターの取り組みや困りごとを言えない方と社協がつながることの大切さについて、講演させていただきました。若者を支える仕組みがないことや社協がひきこもりの課題に取り組み必要性を他の市でも感じておられ、福岡県内にも広がっています。

また、ひきこもり家族会(つながり)とともに毎週木曜日開設しているフリースペースも、参加者が少しずつ増えています。「来たくない時は来なくてもいい」「相手を否定しない」などのルールはありますが、過ごし方は自由で、家族で参加される方が多くおられます。



交流会では話が弾みました

12月5日(土)は、筑後市の不登校ひきこもり家族会(サトルビアの会)が視察見学に來られ、家族会同士の交流も行いました。同じ悩みを共有する中で涙もありましたが、サトルビア会の方からは、「民家なので、場所自体にホッとすると、和やかな交流会となりました。平成23年度から、ひきこもり支援事業を行っています。が、「ひきこもりは、本人や家族だけの問題でない」ということへの理解は、年々深まっているようです。しかし、相談できる場があることを知らない方や不登校やひきこもりに対する厳しい眼差しも感じます。今後も市民のみならず一緒にこの問題を考えたいと思います。

嘉麻市社協 ブログ

本会では、日々の活動を紹介したり、いろいろな福祉情報を素早くお届けしたいという思いで、ホームページで、日記『嘉麻市社協のブログ』を書いています。そこから抜粋してきた記事をご紹介します。ぜひご覧下さい。 <http://kamasyakyo.chobi.net/wordpress/>

2015年 11月15日(日)

今日は、職員自主勉強会として、ハンセン病回復者の方々が生活されている国立療養所菊池恵楓園へ行きました。

現地に到着し、まずは、入所されている杉野芳武さん、桂子さんご夫妻の講話を聴きました。

入所するときの複雑な思い、収容所のような生活、様々な差別を受けてきたことを話されました。辛い過去を振り返り、お話をしてください。このことをどう受け止めていくのか、職員一人ひとりが考えていかなければいけないと感じました。

また、社会交流会館学芸員さんから差別についての話がありました。自分の中にある差別の心に気づくことが大切だと思いました。

その後は、社会交流会館歴史資料館や園内を見学しました。納骨堂には、故郷に帰ることができないたくさんのご遺骨が置かれ、その数は1,000を越していました。無言の叫びを胸にとどめ、フィールドワークを終えました。

様々なことを学んだ勉強会となり、これからの仕事につなげていきたいと感じました。

(K)



2015年 12月12日(土)

12月12日、小竹町総合福祉センターで行われたNPO法人ちくほう共学舎「虫の家」主催の第20回公開講演会に参加しました。作家 雨宮処凛さんが「いま、安保法制・原発・貧困を語る」というテーマで講演されました。

非正規雇用の人や、ワーキングプアと言われる人たちが増え続けている中、生活保護基準の切り下げにしても労働者派遣法の改正にしても、当事者の声を聞いていないということを指摘されました。

『おまかせ民主主義』の風潮があるなかで、若者のデモの動きは、反対運動を超え、どういった社会を目指していくかという民主主義を一から問いかけるものであり、DVDでデモの様子を見せてもらいました。

雨宮さんは日本が抱えている課題は深刻で個別に見ていくと絶望的に思えるが、それをこうして共有している動きがあることが希望であるということと言われました。あらためてデモなどの活動をされている若者の動きを改めて知って、諦めずに思いを発信することの大切さを感じました。それが社会を変える力になるはずであるとも思います。他にも、原発再稼働反対運動のこと、戦争が究極の貧困ビジネスであることなどのお話があり、私が考えなければならぬことはと問われる内容で、とても勉強になりました。

(M)

平成27年度 第3期 市民後見人養成講座スタート

11月27日(金)から、第3期市民後見人養成講座が始まりました。

市民後見人とは、成年後見に関する一定の知識を身につけた方で、地域住民の新たな支えあいのかたちとして期待されています。

初日は、弁護士岩城和代さんから、成年後見制度は判断能力の不十分な高齢者障がい者の尊厳を守るためにあること、同じ地域で本人の心に寄り添うことができる市民後見人が求められていることなどの話がありました。

その後のグループワークでは、かま権利擁護センターの木山センター長を講師に、事例検討を行いました。5つのグループでそれぞれ、事例に関する課題整理を行い、必



初日は、「成年後見制度の基礎～地域福祉と権利擁護～」を学びました。

要な支援について考えました。一人ひとり違った視点からの意見が出る中で、様々な社会資源を把握することやその方の長所に目を向けること、自分の価値観を押し付けないことなど、これから学びを進めていくうえで大切なポイントを確認しました。

これから約3ヶ月間、受講者20名が様々な分野を学びます。

成年後見制度 Q&A

Q

被後見人が介護サービスを利用する場合、後見人は、重要事項の説明を受けて同意することができますか。



A

居宅介護支援契約又は介護サービス利用契約に係る事実行為ですが、後見人は、被後見人の契約締結の前提である重要事項説明を受け、同意をすることができます。



おしゃべりサロン

10月26日(月)、稲築住民センターにて、おしゃべりサロンを開催しました。

講師に坂本さつきさんをお招きし、消しゴムハンコづくりを行いました。

細かい作業でしたが、丁寧に教えていただき、かわいい作品が完成しました。

次回は下記のとおり開催します。子育て中の方だけでなく、関心のある方、妊娠中の方も参加できます。ぜひ、ご参加ください。

記

次回のご案内

日時 1月23日(土)11時～13時
場所 寄ってこハウス
内容 スクラップブックング&寄せ鍋
※鍋の材料を一品お持ちください。

「読めば答えが見つかるかも」 社協だよりクイズ

「広報紙えがお」を読んで、次のクイズにお答えください。正解者の中から抽選で2名の方に、図書券(千円分)をプレゼントします。

問題

水俣の方が恵を受けていた魚がたくさん獲れる海はどこでしょうか。

- (1) 有明海
- (2) 東シナ海
- (3) 不知火海

●応募方法 ①クイズの答え、②広報紙の感想、③郵便番号・住所、④氏名、⑤年齢、⑥電話番号をご記入の上、1月31日(必着)までにハガキ、またはEメールにてご応募ください。

●送付先 〒820-0206

嘉麻市岩崎1-4-3番地3

嘉麻市社会福祉協議会

E-mail: link@kama-syakyo.com

●前号のクイズの答え (3)

性的少数者(LGBT)のT(トランスジェンダー)とは、体と心の性が一致しない方です。

●応募のあった方から社協だよりの感想をいただきましたので、紹介します。

・毎回自分の知らなかった情報が分かって参考になっています。

・いつも読ませていただいています。かま権利擁護センターの案内、成年後見制度、今月の二冊等、役立つ記事ばかりで参考になります。

※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

市民活動団体紹介

このコーナーでは、かまボランティア・市民活動センターに登録されているグループや団体に活動内容や活動への思いなどをインタビューします。

今号は、Bravo!(ブラボー)代表の^{やまと}大和さんに話を伺いました。

活動内容について 教えてください。

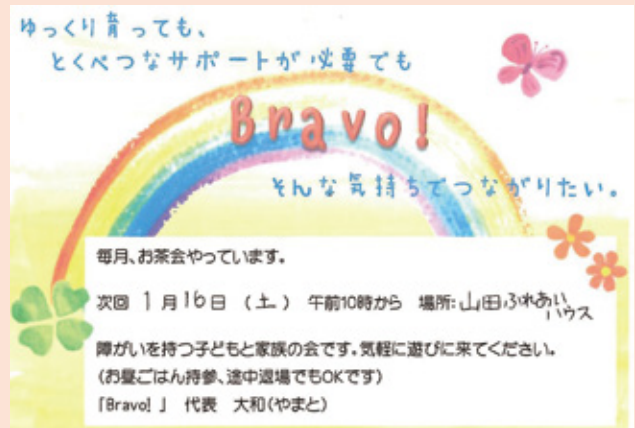
障がいを持つ子どもと家族の会です。主に筑豊地区の方が集まっています。月に一度、家族で集い、情報交換したり、悩みを話したりしています。

立ち上げたきっかけは？

北九州市や福岡市で開催されていた親の会に参加し、筑豊地区のメンバーと出会いました。近い距離で集まれたらとの思いがあり、会を立ち上げることになりました。

これからの目標や活動への 思いを教えてください。

平成27年9月に立ち上げたばかりなので、これからだと思っています。まだ会員は9名しかいませんが、少しずつ広がりがでてきたらいいなと思います。また、子育てには悩みがつかみませんので、その悩みを共有できるようにつながりを大切にしていきたいです。



団体名…Bravo! 活動日…毎月第3土曜日
会員数…9名 場所…山田ふれあいハウス

※お問い合わせは、かまボランティア・市民活動センターまで

ボランティア情報

駅伝ボランティアの募集

県内の子どもたちが学年や勝ち負けに関係なく楽しく走る、ふくおか子ども駅伝in嘉麻が開催されます。

この大会で、運営を手伝ってくださるボランティアスタッフを募集しています。

記

日時	平成28年2月21日(日) 8時30分～15時
集合場所	山田生涯学習館 (嘉麻市上山田1347-10)
活動内容	テントの設置、コース運営など
募集締切	1月15日(金)
備考	屋外の活動のため、防寒対策をお願いします。

福岡県生活支援 ボランティア養成研修

高齢化が進む中、生活する上でちょっとした手助けを必要とする人も多くなっています。話し相手やお手伝いなど身近に取り組めるボランティア活動にチャレンジしてみませんか？

記

日時	平成28年2月3日(水) 10時～16時
内容	・ボランティアをはじめるにあたって ・高齢者の特徴コミュニケーションの手法・訪問マナー
会場	飯塚研究開発センター(飯塚市川津680-41)
対象者	県内在住でボランティアに関心がある方
定員	50名程度(先着順)
締切	1月20日(水)

※研修終了後、福岡県より修了証を交付いたします。



九八歳の妊娠 ～宅老所よりあい物語～



著者：下村 恵美子十谷川 俊太郎「詩
出版社：株式会社 雲母書房

著者の下村恵美子さんは、元氣な認知症高齢者が病院で薬を処方されて、次第に元気がなくなっている姿に疑問を持ち、宅老所を作ることを決意しました。

目指したのは、施設ではなく、「おばあちゃん家に来たような家」です。

本書は、その宅老所「よりあい」の日常が描かれています。

利用者さんが末期がんでも普通に歌を歌ったり、ご飯を食べたりしてのんびりと過ごしている様子を見た下村さんは、自分の母親ががんで痛みを苦しむにつつくなってきたことを思い出します。「ぼけの方は自分がかんであることを忘れ、心の痛みも身体も瞬瞬間忘れてしまふ。ぼけというのはそんなに悪くないな、マイナスばかりじゃないなと思えてきました。」と書かれていて、認知症をマイナスとしか

とらえていなかったことにハッとさせられました。この本のタイトルでもある「98歳の妊娠」は、6年間よりあいで過ごした大場さんのエピソードからきています。

ある時、大場さんは、「私のおなかに、どうも赤ちゃんがおるごたる」と下村さんへ訴えます。下村さんは、「どうぞ産んでください。大場さんによく似て、色の白かよか赤ちゃんのできんしゃるでしようね」と応じます。続いて、「育てるのはあなたに手伝つてもらえんやろうか」という問いに、「はい。お手伝いします。お約束します」と答えると安心して眠りにつかれたそうです。認知症介護の基本の否定しない、受容することの大切さをこの話から学びました。

下村さんは、ぼけても住み慣れた街で普通に暮らし続けるという考えが少しずつ浸透してきており、それはいつもの生活の音やにおいに囲まれた環境で生活することが社会に認められてきているのだといいます。

「ぼけ」や「老い」に対する偏見を失くし、「ぼけないために」する社会から、「ぼけても安心」な社会を作るために、自分たち二人ひとりでできることについて、考えさせられる一冊でした。
(あかま)

2月の総合相談

法律相談は予約が必要です。先着順となっておりますので、お早めにお申し込みください。

法律相談

とき：2月4日(木) 13:00～16:00
ところ：山田ふれあいハウス

とき：2月18日(木) 13:00～16:00
ところ：稲築住民センター

心配ごと相談

とき：2月10日(水) 13:00～15:00
ところ：稲築住民センター

とき：2月24日(水) 13:00～15:00
ところ：稲築住民センター

嘉麻市社会福祉協議会 ☎0948-42-0751

炭鉱の記憶

No. 106

上山田地区にある清水写真館は、古くから続いている歴史ある写真館です。旧上山田駅のすぐそばにあり、炭鉱で栄えていた頃はたくさんの方々の往來を見守ってきました。当時の写真が残っていないか、清水写真館の角育枝さんに尋ねると、大きなタンボールに入った写真を見せていただきます。その中でもとても気になったのが左下の写真で、結婚式へ向かう花嫁さんと留袖を着ている祖母の清水タマさんが写っています。

看板に載っている映画のタイトルを調べると、昭和20年頃に撮られたものと分かりました。幸サロンで当時の話を伺うと、朝、家に美容師が来て、花嫁さんが着付けや化粧をした後、親戚や友人が集まり、みんなで街を歩いて近所の神社にお参りに行ったそうです。地域の公民館で結婚式をすることもあって、

その時には組内で料理を準備し、地域のみんなでお祝いしました。

結婚を親戚や友人だけでなく、地域の方々から祝福してもらえる時代のあたたかさを感じました。



炭鉱時代の懐かしい写真や思い出などを募集しています。嘉麻市社会福祉協議会までご連絡いただければ幸いです。

☎0948(42)0751

記念講演のご案内

日時 平成28年2月11日(木) 祝日 **会場** なつき文化ホール(嘉麻市岩崎63-8)
14時10分～16時

内容 テーマ:「生きているだけですごいんだ～居場所のちから～」
講師: NPO法人フリースペースたまりば 理事長 西野博之さん

講師プロフィール

1960年東京浅草生まれ。86年不登校児童・生徒や高校中退した若者の居場所づくりにかかわる。91年「フリースペースたまりば」開設。

不登校児童・生徒やひきこもり傾向にある若者たち、さまざまな障がいのあるひとたちとともに地域で育ちあう場を続けている。

03年川崎市子ども夢パーク内に、川崎市の委託により、公設民営の不登校児童・生徒の居場所「フリースペースえん」を開設、代表。

大人用紙おむつを販売をしています

本会では、紙おむつを販売しています。ご注文をいただいた商品は、1袋でもご自宅へお届けいたします。初めての方には、状態に合った商品を提供できるよう、試供品をお渡ししています。また、配達時には、紙おむつのことだけでなく困りごとについても伺いますので、ぜひ、ご利用ください。

おすすめの紙おむつ



パワフルパンツ(S～LLサイズ 1,810円～1,920円)

薄型で動きやすい、パンツタイプの紙おむつです。

紙パンツ専用安心フィット(940円)

前後2カ所のテープで簡単に取り付けできる尿とりパッドです。

デオドラントライナー(少量 中量 各350円)

軽い尿モレ用ライナーです。活性炭の力で瞬時に消臭します。

ご注文、お問い合わせ先 社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会 ☎0948-42-0751

嘉麻市
社会福祉協議会指定
葬祭場紹介

セレモニーホールおおつか

嘉麻市下山田9-1 ☎(0948)52-1212

終活は、人生の最期を迎える前の生前準備のことです。終活に欠かせないのがエンディングノートです。書きやすいところ、興味のあるところから書き、緊急時(終末期医療についての希望、貴重品や保険の情報、友人知人の連絡先など)に必要なことを最初に書いておくと安心です。

※エンディングノートをご希望の方は進呈いたします。ご遠慮なくお申しつけ下さい。

葬儀申し込み時に、「嘉麻市社会福祉協議会指定でお願いします」とお伝えください。葬儀にかかる費用の一部について割引を受けることができます。



嘉麻市社会福祉協議会指定葬祭場は、セレモニーホールおおつかを含め、市内に8ヶ所あります。

かほ葬祭 あじさい会館…………… ☎62-5566	きど葬祭やまさ碓井斎場…………… ☎62-4499
善光会館 稲築会場…………… ☎83-5000	ひさつね会館…………… ☎52-0758
おかむら葬祭岡村会館…………… ☎42-4420	いすや会館…………… ☎57-4444
飛鳥会館 南斎場…………… ☎42-4241	

みなさまの善意、心より厚く、
お礼申し上げます。

香典返し・寄附

11月1日～11月30日受付分

●香典返し

〔漆生本村〕

親族 梅野哲二様
故 梅野文子様

〔山野第二〕

親族 熊井孝和様
故 熊井昭子様

〔鴨生第一〕

親族 金丸英徳様
故 金丸ヤツ子様

〔鴨生第二〕

親族 工藤六郎様
故 工藤利恵子様

〔熊ヶ畑第一〕

親族 伊藤エノ様
故 伊藤三郎様

〔尾浦第一〕

親族 掛田ヨシノ様
故 掛田ヨシノ様

〔神幸〕

親族 小川裕司様
故 小川浩子様

〔本町〕

親族 松井高明様
故 松井恵子様

〔さくらが丘〕

親族 森山雅哉様
故 森山香織様

〔長野〕

親族 明石忠夫様
故 明石真砂子様

〔石ヶ崎〕

親族 梅野利昭様
故 梅野キミ子様

〔中益〕

親族 有馬すみ代様
故 有馬洋一様

〔上西郷〕

親族 井桁敏美様
故 井桁和子様

〔下牛隈〕

親族 岡部宏和様
故 岡部ミエ子様

〔桑野〕

親族 齋藤トシ子様
故 齋藤輝昭様

〔小野谷〕

親族 梶原厚子様
故 梶原達二様

〔六四田〕

親族 江藤秀樹様
故 江藤万津恵様

〔光代〕

親族 山田恵美子様
故 山田賢市様

●寄附

〔二般寄付〕

第30回コリアンハウス
洪苑チャリティイ

ゴルフコンペ

加納歌佳ふるさと

チャリティライブ

嘉穂の名水愛好者一同

〔子育てリユース〕

漆生本村 森裕美様
下白井西 瀧本里美様
大隈 大里理子様
下牛隈 吉岡知子様
牛隈北区 永末仁美様
飯塚市 廣瀬陽子様
田川市 小松直子様
福智町 桑野道恵様

〔アルミ缶〕

漆生本村 松熊涼太様
漆生本村 松熊彩香様
漆生中央 田中茶舗様
漆生南部 岩田勇治様
漆生南部 西田幸子様
東岩崎 松岡光様
鳴生第一 伊藤喜代益様
漆生東 匿名名様
枝坂 久家浩史様
枝坂 白土綾乃様
六四田 松田敏雄様
百々谷 橋本利根様
尾浦第一 友添正利様
神幸 松岡あつ子様
中央 明石睦則様
芥田 大野スマ子様

清浄学園
石ヶ崎シニアクラブ
いきいきサロンなかます
〔リンクフル〕
漆生中央 田中茶舗様
山野第二 竹井スミコ様
山野第二 古賀絹江様
枝坂 森章枝様
下白井東 匿名名様
六四田 松田敏雄様
下宮 三好邦央様
石ヶ崎 國武美千代様
古河 甲斐良子様
上西郷 有田和也様
下牛隈 山本晃史様
桑野 匿名名様
フレンズ 匿名名様
石ヶ崎シニアクラブ
グラントベルズ飯塚

〔古切手〕

西岩崎 和田隆泰様
山野第二 古賀絹江様
鳴生第一 伊藤喜代益様
下白井東 匿名名様
五日町 匿名名様
教育ナビゲーション(株)
(株) トモス

〔使用済アレカ〕

J Aふくおか嘉穂
南部グリーンセンター
グラントベルズ飯塚
J Aふくおか嘉穂
南部グリーンセンター

山田ふれあいハウスからのお願い



山田ふれあいハウスでは、子育てリユースセンターを設置し、使わなくなった子ども服、中学校や高校の制服など子育て用品が揃っていますが、ベビーベッドの問い合わせがあり現在不足している状況です。ご家庭で、使わなくなったベビーベッドがありましたら、ぜひご協力ください。

連絡・問い合わせ先／山田ふれあいハウス
嘉麻市上山田502番地6 TEL 0948-52-1847

あなたの会費が、社協の
地域活動を支えています

会員として、次の方々に

ご加入いただきました。

(敬称を省略させていただきます。)

11月1日～11月30日受付分

〔中山田上〕赤間秀人

〔飯田〕白井祥恵

〔上牛隈〕中嶋美津枝

〔下牛隈〕大塚香代子

ふるさとへの手紙 No.119



神奈川県横浜市
在住
梅永 歌佳さん
漆生出身

人情味 歌い手 加納歌佳

明けましておめでとーございま

す。歌手デビューして今年で25周年となる私は、去年10月に初めて故郷のなつき文化ホールにて凱旋ライブをさせていただきました。沢山の方々にお越しいただき、涙で鼻水をすする音と笑い声の絶えない盛況をいただいで感謝の限りです。

平小学校に通う途中は石炭山のトンネルを通ります。トロッコに乗ったおじちゃん達が手を振ってくれていました。炭鉱風呂に連れてってと母親にせがみ何度か連れて行つてもらったこともあります。子どもなりに大変な仕事なんやろなあと感じておりました。5年生の時、炭鉱が閉山。半分近くの友達と親戚がこの地を去りました。夜行列車に乗って行った友達との別れは言葉もかけられず、涙さえも出ないほど寂しい現実でした。

中学校で祖父母と一緒に暮らすこととなり、漆生駅の斜め前、縁側から電車が見え、電車に乗る度に寡黙な祖母が必ず手を振ってくれていたのが目に焼き付いています。おばあちゃんの床漬けもうまかったなあ。稲高時代は先生や父母からも愛情あるお叱りを受けながら、喧嘩してもみんな自然に助け合っていました。

歌い手になり、博多、東京を行ったり来たりしながらメディアに載り応援も変わらぬ中、8年前厳しいところでもっぺんからやり直すと横浜へ。帰る度、遠賀川と土手沿いに咲く菜の花は時に挫けそうに歪みそんな心をリセットしてくれます。

「人の事するだんじゃなからうもん」というくらい家の中はてんやわんやでも決して見栄ではなく手を差し伸べてくれる人々…

懐も深く厳しくも優しく変わらない人々の愛を過日の凱旋ライブで厚く感じずにはいられませんでした。人のことを放っておけず、寂しがり屋で、そして一人では決して生きてゆけないことも心得ている筑豊の方々は宝であり、誇りです。

まだまだ未熟な歌い手ばつてん、ほんの少しでも涙と笑顔の歌を横浜からお届けできたらと恐縮ながら念じております。良き年をお過ごしいただけますことを心より願います。

編集後記



(きはら)

新年をイメージした表紙の写真は、「はい、チーズ」ではなく、「コアラのマーチ」という掛け声に合わせて、撮影しました。サルのご好意をしたかわいい園児さんの口にも注目ください。



(みそくち)

Voiceの原稿を書きながら、杉本さんから伺ったお話を何度も振り返りました。悲劇を伝えるのではなく、希望を持って生きた人々のことを伝え続けていくということがとても心に響きました。



(たけがわ)

炭鉱の記憶の取材では、上山田地区の商店や個人のお宅を訪ね歩いて、ようやく清水写真館にたどり着きました。まるで刑事ドラマの聞き込みのような感じでしたが、みなさんとても親切に教えていただいて、人の温かさを感じました。



(あかま)

今月の一冊では、これまでの自分にはなかった観点から認知症介護について、考えることができました。文書にまとめるのに、とても苦労しましたが、「読んでみたい」と思われるとうれしいです。



(ごうはら)

市民後見人養成講座では職員も一緒に学んでいます。その方のこれまでの普通の暮らしを物差しに支援することも学びました。日々の生活の中で自分の価値観について冷静に見つめる時間が大切だと思いました。



(まる)

12月13日の生活支援ボランティア養成研修に参加しました。誰もが強みを持っていて、その強みをそれぞれが活かしていき、お互い様の関係を築いていくことが重要であることを改めて学びました。

市民のみなさんと共に福祉のまちづくりを ～平成27年度の社協会員を募集します～

嘉麻市社会福祉協議会は、市民のみなさんと共に福祉のまちづくりを推進していくために、会員を募集します。

みなさんから納めていただく会員会費は、本会の地域福祉活動や、新たな福祉課題に対応するための事業等の財源として活用させていただきます。会員は、年間を通じて募集しておりますので、ぜひご加入いただき、福祉のまちづくりにご参加ください。

会員の種別は—

個人会員 1口1,000円 法人・団体 1口1,000円

入会の方法は—

①社協窓口にお越しいただける方

窓口で入会申込書をご記入いただき、今年度分の会費をお支払いいただきます。

②集金をご希望される方

社協までご連絡をお願いします。地区によって集金方法が違いますので、ご案内いたします。

③市外の方

氏名、住所、連絡先を記入の上、現金書留もしくは郵便小為替で本会まで郵送ください。

《お問い合わせ先》 嘉麻市社会福祉協議会 ☎0948-42-0751